

3. 再発・類似事例の発生状況

本事業では、医療事故情報及びヒヤリ・ハット事例を収集し、個別のテーマに関する医療事故情報とヒヤリ・ハット事例を併せて総合的に検討・分析を行い、更に、個別のテーマの他に「共有すべき医療事故情報」や「医療安全情報」により、広く共有すべき医療事故情報等を取り上げ公表してきた。ここでは、これまで個別のテーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた再発・類似事例の発生状況について取りまとめた。

【1】概況

これまで提供した「医療安全情報」において、本報告書分析対象期間（平成22年1月～3月）に報告された類似事例は、9項目13件であった。このうち、類似事例が複数報告されたものは、「抗リウマチ剤（メトトレキサート）の過剰投与に伴う骨髄抑制」が2件、「グリセリン浣腸に伴う直腸穿孔」が2件、「小児の輸液の血管外漏出」が3件であった。

また、これまで取り上げた「共有すべき医療事故情報」において本報告書分析対象期間に報告された類似事例は、12項目39件であった。このうち、類似事例が複数報告されたものは、「療養上の世話」において熱傷をきたした事例」が3件、「熱傷に関する事例（療法上の世話以外）」が8件、「ベッドなど患者の療養生活で使用されている用具に関連した事例」が3件、「施設管理の事例」が2件、「体内にガーゼが残存した事例」が12件、「眼内レンズに関連した事例」が2件、「薬剤の併用禁忌に関連した事例」が2件、「凝固機能の管理にワーファリンカリウムを使用していた患者の梗塞及び出血の事例」が3件報告された。

「医療安全情報」及び「共有すべき医療事故情報」に取り上げた類似事例の報告件数を図表Ⅲ－3－1に示す。

本報告書分析対象期間において発生した類似事例のうち、医療安全情報に取り上げた「抗リウマチ剤（メトトレキサート）の過剰投与に伴う骨髄抑制」、「薬剤の取り違い」、「手術部位の左右の取り違い」、共有すべき医療事故情報で取り上げた「歯科診療の際の部位間違いに関連した事例」、「施設管理の事例」について事例詳細を紹介する。

図表Ⅲ-3-1 平成22年1月から3月に報告された再発・類似事例

内 容	件数	出 展
抗リウマチ剤(メトトレキサート)の過剰投与に伴う骨髄抑制	2	医療安全情報 No.2 (平成 19 年 1 月)
グリセリン浣腸実施に伴う直腸穿孔	2	医療安全情報 No.3 (平成 19 年 2 月)
薬剤の取り違い	1	医療安全情報 No.4 (平成 19 年 2 月)
小児の輸液の血管外漏出	3	医療安全情報 No.7 (平成 19 年 6 月)
手術部位の左右の取り違い	1	医療安全情報 No.8 (平成 19 年 7 月)
MRI 検査室への磁性体 (金属製品など) の持ち込み	1	医療安全情報 No.10 (平成 19 年 9 月)
口頭指示による薬剤量間違い	1	医療安全情報 No.27 (平成 21 年 2 月)
ガベキサートメシル酸塩使用時の血管外漏出	1	医療安全情報 No.33 (平成 21 年 8 月)
持参薬の不十分な確認	1	医療安全情報 No.39 (平成 22 年 2 月)
インスリン投与間違いの事例	1	共有すべき医療事故情報 (第 4 回報告書)
「療養上の世話」において熱傷をきたした事例	3	共有すべき医療事故情報 (第 5 回報告書)
熱傷に関する事例 (療養上の世話以外)	8	共有すべき医療事故情報 (第 9 回報告書)
ベッドなど患者の療養生活で使用されている用具に関連した事例	3	共有すべき医療事故情報 (第 11 回報告書)
施設管理の事例	2	共有すべき医療事故情報 (第 11 回報告書)
ベッドからベッドへの患者移動に関連した事例	1	共有すべき医療事故情報 (第 13 回報告書)
体内にガーゼが残存した事例	12	共有すべき医療事故情報 (第 14 回報告書)
眼内レンズに関連した事例	2	共有すべき医療事故情報 (第 15 回報告書)
歯科診療の際の部位間違いに関連した事例	1	共有すべき医療事故情報 (第 15 回報告書)
アレルギーに関連した事例	1	共有すべき医療事故情報 (第 15 回報告書)
薬剤の併用禁忌に関連した事例	2	共有すべき医療事故情報 (第 16 回報告書)
凝固機能の管理にワーファリンカリウムを使用していた患者の梗塞及び出血の事例	3	共有すべき医療事故情報 (第 20 回報告書)